

**特別活動 学級活動（１）指導案作成例**

第5学年〇組 学級活動（１）指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時  
指導者 教諭 〇〇 〇〇

議題は児童の意見から設定する。

1 議題 「がんばったね集会をしよう」  
学級活動（１）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

(1) 児童の実態（略）

- ・児童の学級生活における実態
- ・これまでの学級活動の取組
- ・高学年の評価規準からみた話し合い活動における課題や目指す方向

(2) 議題選定の理由（略）

- ・議題が選定された背景や教師の指導観
- ・評価との関わりについて

※以下に示した項目の内容を含んだものにして記述すること。

『指導と評価の一体化』のための  
～』P. 25第2編を参考にする。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活を作るために、見通しをもって振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

※評価規準は、学習指導要領「特別活動の目標」と  
自校の実態を踏まえて、学校ごとに設定すること。

4 事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
〇月〇日 ( ) 15分の 休み時間	・提案ポストの議題案を確認し、選定する。 (計画委員会)	・議題選びの視点を念頭において選定することを指導する。	◎がんばったね集会への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。  【主体的態度】 (学級会ファイル)
〇月〇日 ( ) 帰りの会	・議題を決定する。 (学級全員)	・計画委員会で選定した議題案をもとに、学級全員で決定する。	
〇月〇日 ( )  昼休みなど	・活動計画を作成する。 (提案理由、話し合いのめあて、話し合おうこと、決まっていること等を確認する)  ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・学級会コーナーに掲示する。 (計画委員会)	・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を「決まっていること」として教師が設定する。 ・提案者の思いや願いを学級全体の共同の問題になるように、提案理由をしっかりと深めるようにする。	

○月○日 ( ) 帰りの会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。 (学級全員)	・話し合うことや決まっていることが、共通理解できるように必要に応じて助言する。 ・提案理由を踏まえた自分の考えを記入できるようにする。	◎友達のがんばりを認め合うことができる集会の内容を学級会ファイルに書いている。 【思考・判断・表現】 (観察・学級会ファイル)
○月○日 ( ) 昼休み	・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。(計画委員会)	・出された意見から話合いの見通しがもてるように助言する。必要に応じて短冊に記入する。 ・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話合いの意欲を高める。	

### 5 本時の展開

(1) 本時のねらい

1年間の互いのがんばりを認め合う楽しい「がんばったね集会」をするために、集会の内容を考えたができるようにする。

(2) 児童の活動計画 (別紙)

※児童の活動計画として、本時の学級会ファイルを別紙として添付すること。

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉 2 計画委員会の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由や話合いのめあての確認	・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。 ・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 <b>「がんばったことを振り返ることができる集会の内容と工夫を考えよう。」</b> ・決まっていることを確認する。 ①日時…○月○日○時間目 ②場所…教室 ③ゲームで一つ、それ以外で一つ	児童の活動計画に、提案理由・話合いのめあて・決まっていることについて、具体的に書かれている場合は、教師の指導計画では省略することもできる。 <b>プログラムを示してもよい。</b>
5 決まっていることの確認		
6 話合い ・話し合うこと① 「何をするか。」  ・話し合うこと② 「どのようにするか。」 *時間配分や役割、ルールをどのように工夫するか  ・話し合うこと③ 「どんな係が必要か。」	・司会が進行に困ったときは方向性を示唆し、児童の合意形成を方向付けるような助言はしない。 ・自治的活動の範囲を超えそうな場合は、適切に助言する。 ・必要に応じて、自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さについて助言する。 ・これまでの集会の経験をもとに必要な係りについては事前に短冊を用意しておき、今回新たに必要な係りについて話し合う。	◎これまでの集会活動の経験を生かしたり、友達の見地のよさを生かしたりして、がんばったね集会の内容や工夫について考えている。 ◎みんなでがんばったことを認め合う内容はどれがよいか根拠を明確にしながら発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。 【思考・判断・表現】 (発言・観察)
	・よかった点を話し、友達のよ	<b>十分満足できる活動の状況を想定して具体的に記述する。</b>

話合いの柱は、必ずしも3つとは限らない。議題に応じて設定。

8 話合いの振り返り 9 先生の話         10 おわりの言葉	互評価できるように助言する。 ・終末の助言では、「①前回の話合いと比べてよかった点、合意形成したことへの価値付けや称賛、②今後の課題、③計画委員へのねぎらい、④今後の見通しや実践に向けての意欲付け等」について簡潔に述べる。 ・提案理由を意識した発言や建設的な発言、意欲的に参加していた児童を称賛する。 ・実践への見通しをもち、意欲が高まるように言葉掛けを行う。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6f2ff;"> <p><b>※【努力を要する活動の状況と判断される場合】は、どのような支援をするかを具体的に設定しておくこと。(指導上の留意点などに記述すると良い。)</b></p> </div>
---	---	--

## 6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
○月○日 ( )  帰りの会	・決まったことを学級会コーナーに掲示する。 ・役割分担が決まっていなければ、係の役割分担をする。	・学級会で決まったことの要点をまとめて書くよう計画員会に助言する。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6f2ff;"> <p><b>※評価は、本時のみで見取るのではなく、事前・事後も確実に評価すること。</b></p> </div>
○月○日 ( ) ~ ○月○日 ( ) 休み時間等	・係ごとに計画を立てて、協力して準備をする。 ・帰りの会などで係ごとに経過報告を行ったり、お知らせを伝えたりする。	・係は必ず複数名で担当し、全員で協力して活動できるようにする。 ・準備の進捗状況を途中で確認し、活動意欲の継続化を図る。	◎がんばったね集会のめあてを意識して、友達と協力して取り組んでいる。
○月○日 ( ) ○校時	・「がんばったね集会」を行う。	・集会のねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 ・協力したり工夫したり活動したりしている児童を称賛する。	【思考・判断・表現】 (学級会ファイル)
○月○日 ( )	・一連の活動を振り返る。	・自分の態度を振り返るとともにめあてに基づいた振り返りを行い、自分の役割を果たすことや友達のおかげのところについても認められるように助言する。	◎がんばったね集会の成果と課題を振り返り、自他のがんばりに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。 【主体的態度】 (学級会ファイル)

### 《参考・引用文献》

『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編』(文部科学省 2017年)

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』

(文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 2020年)

『楽しく豊かな学級・学校生活をつくる 特別活動 小学校編』

(文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 2018年)